

群落名 ツルヨシ草地



細い流れに近いところに発達する、ツルヨシが大部分を占める草地です。急流や溪流の水ぎわに見られ、水ぎわの不安定な場所の安定化に重要な役割を持っています。河川敷の細い流れのところや、堤防の下の湿ったところ、送水管のはけ口のまわりの、流れのそばなどに見られます。

種名 イヌドグサ



本州より南に分布しています。河原や土手、海浜、ときに工事現場の裸地（植物の生えていないところ）に生えています。トクサやスギナに似ていますが、枝の先にツクシのような穂をつけます。荒地から、日当たりの良い草地に、たくさん見ることができます。

群落名 ススキ草地



イネ科の仲間のススキ、チガヤ、トダシバ、シバによってつくられた草地で、河川敷では、湿ったところより乾燥したところに、見られます。堤防の斜面や河原、また、中洲の小高くなったところ、アキグミ低木林のまわりに見られます。

種名 タチヤナギ



北海道から九州に分布しています。日当たりの良い湿ったところや、小川のふちにむらが生えています。木の皮は褐色をしていて、縦に割れないで、薄くはがれます。姫川の本川をのぞく河川敷に、広く生えています。また、河川敷で見られるほかのヤナギとして、カワヤナギやシロヤナギがあります。

種名 ツルヨシ



川のへりや、砂地に生える草です。地上をはっている茎の節から上にのび、高さは1.5～3.0mになります。花は、8～10月頃に咲きます。ヨシと違って、横にのびる茎が地上にです。河川敷の、本流をのぞいた湿ったところに、まとまって見られます。

群落名 堤防の斜面の草地



コマツナギ、アカツメクサ、カワラハハコ、オトコヨモギが、それぞれまとまって生えている、丈の低い草地です。姫川の全地域の堤防や、河原の斜面によく見られます。